

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 大成温調株式会社

コード番号 1904 URL <https://www.taisei-oncho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 総合企画室長 (氏名) 岡田 浩二 TEL 03-5742-7306

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,467	19.2	△116	ー	△120	ー	△132	ー
2020年3月期第1四半期	8,782	△5.1	△360	ー	△330	ー	△379	ー

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 102百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 △351百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△20.25	ー
2020年3月期第1四半期	△58.02	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	42,189	23,113	54.8	3,538.02
2020年3月期	44,839	23,468	52.3	3,592.33

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 23,113百万円 2020年3月期 23,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	0.00	ー	70.00	70.00
2021年3月期	ー				
2021年3月期(予想)		0.00	ー	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,600	△11.1	1,150	△38.8	1,200	△43.7	900	△39.1	137.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結および個別業績予想につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。なお、当社グループは年次での業績管理を実施しているため、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	6,882,487株	2020年3月期	6,882,487株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	349,658株	2020年3月期	349,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	6,532,849株	2020年3月期1Q	6,532,954株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化の様相を呈している新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響による、企業収益の悪化、および消費マインドの停滞により大きく下振れしており、出口の見えない状況の中、推移するに至りました。

当社グループの建設業界におきましては、大都市圏を中心とした再開発関連投資が下支えとなった反面、これまで顕在化していた人手不足による供給制約や原材料のコスト増などの諸問題に加え、コロナ禍による経済全般のマインドの冷え込みから、民間を中心に設備投資の計画が見直される傾向が見え始めており、今後の受注環境の不透明感が懸念されております。

こうした状況のもと、当社グループは、本年4月に新ブランド「LIVZON」を立ち上げ、建物を活性化し、その価値を高めていくという、当社の提供する事業価値や姿勢を具体化いたしました。

この「LIVZON」ブランドとしての社会的責任を胸に、当社グループは、「中期経営計画“大成温調@Version UP計画”」の基本コンセプトである「企業価値の増大」と「社会への還元」を達成すべく、本業における顧客基盤の強化や調達網の拡充、協力企業との連携強化、直需案件への対応力強化による「競争力の強化」、働き方改革の推進のほか、ICT/IoT分野への投資拡大や国内外における技術および事業提携先の発掘などによる「生産性の向上」、ビジネスモデルの再構築やコーポレートガバナンスの強化などによる「企業価値の向上」などの課題に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比52.1%減の92億38百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同四半期比19.2%増の104億67百万円となり、営業損失は1億16百万円（前年同四半期は営業損失3億60百万円）、経常損失は1億20百万円（前年同四半期は経常損失3億30百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、法人税等11百万円を計上した結果、1億32百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億79百万円）となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事について多額になる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費等の固定費は各四半期にほぼ均等に発生します。時期に偏りのない安定した売上と利益の確保に努めておりますが、利益が連結会計年度末に偏る季節的変動があります。

なお、TAISEI ONCHO INDIA PRIVATE LIMITED（インド）、およびONCHO PHILIPPINES, INC.（フィリピン）につきましては、すでに事業の休止を決定しており、閉鎖に向けた手続きを進めております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては前年同四半期比22.7%増の87億8百万円となり、セグメント損失は1億1百万円（前年同四半期はセグメント損失3億53百万円）となりました。

② 米国

売上高につきましては前年同四半期比14.0%増の16億65百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比26.6%減の56百万円となりました。

③ 中国

売上高につきましては前年同四半期比60.8%減の88百万円となり、セグメント損失は65百万円（前年同四半期はセグメント損失70百万円）となりました。

④ インド

売上高につきましては当第1四半期連結累計期間および前年同四半期ともにありません。セグメント損失は7百万円（前年同四半期はセグメント損失8百万円）となりました。

⑤ フィリピン

売上高につきましては当第1四半期連結累計期間および前年同四半期ともにありません。セグメント損失は0百万円（前年同四半期はセグメント損失3百万円）となりました。

⑥ オーストラリア

売上高につきましては当第1四半期連結累計期間は5百万円となり（前年同四半期はありません。）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は421億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億49百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、受取手形・完成工事未収入金等が71億15百万円減少し、現金及び預金が47億65百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は190億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億94百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、支払手形・工事未払金等が54億16百万円減少し、短期借入金が12億円、流動負債のその他が11億87百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は231億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億55百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が5億89百万円減少し、その他有価証券評価差額金が2億26百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響により、合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、本日「業績予想および配当予想に関するお知らせ」を公表いたしました。なお、業績修正が必要と判断された場合には、速やかに別途お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,361,365	13,127,210
受取手形・完成工事未収入金等	18,638,473	11,522,560
電子記録債権	5,096,645	4,381,702
有価証券	156,711	57,959
未成工事支出金	992,253	1,233,563
商品	112,781	10,649
原材料	165,839	201,544
その他	562,056	747,547
貸倒引当金	△149,868	△135,860
流動資産合計	33,936,257	31,146,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,101,871	3,100,915
機械装置及び運搬具	1,431,636	1,433,512
土地	1,909,114	1,887,598
建設仮勘定	6,100	6,100
その他	469,223	477,930
減価償却累計額	△3,574,711	△3,608,670
有形固定資産合計	3,343,233	3,297,386
無形固定資産	498,461	473,442
投資その他の資産		
投資有価証券	4,717,542	5,016,510
長期貸付金	8,745	8,163
繰延税金資産	727,320	639,454
その他	1,839,689	1,839,631
貸倒引当金	△231,828	△231,519
投資その他の資産合計	7,061,470	7,272,240
固定資産合計	10,903,164	11,043,069
資産合計	44,839,422	42,189,946

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	12,021,295	6,604,580
電子記録債務	4,662,002	5,163,343
短期借入金	—	1,200,000
未払法人税等	309,401	358,598
未成工事受入金	2,229,226	2,569,042
賞与引当金	287,249	158,058
完成工事補償引当金	322,738	315,703
工事損失引当金	85,208	57,508
関係会社整理損失引当金	30,500	30,500
その他	1,262,769	2,450,612
流動負債合計	21,210,392	18,907,948
固定負債		
退職給付に係る負債	13,341	30,518
その他	147,362	138,202
固定負債合計	160,703	168,721
負債合計	21,371,096	19,076,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,077,057	5,077,057
利益剰余金	12,991,288	12,401,708
自己株式	△210,485	△210,612
株主資本合計	23,052,917	22,463,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500,127	726,241
為替換算調整勘定	△50,898	△45,421
退職給付に係る調整累計額	△33,820	△30,753
その他の包括利益累計額合計	415,408	650,066
純資産合計	23,468,326	23,113,276
負債純資産合計	44,839,422	42,189,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高		
完成工事高	8,535,018	10,214,587
その他の事業売上高	247,438	252,549
売上高合計	8,782,456	10,467,137
売上原価		
完成工事原価	7,798,844	9,239,900
その他の事業売上原価	190,451	195,473
売上原価合計	7,989,296	9,435,374
売上総利益		
完成工事総利益	736,173	974,686
その他の事業総利益	56,986	57,075
売上総利益合計	793,160	1,031,762
販売費及び一般管理費	1,153,758	1,148,614
営業損失(△)	△360,597	△116,851
営業外収益		
受取利息及び配当金	39,089	38,018
受取保険金	35,968	45,206
その他	35,068	12,242
営業外収益合計	110,126	95,467
営業外費用		
支払利息	432	1,633
有価証券売却損	5,426	—
持分法による投資損失	16,628	11,888
デリバティブ評価損	9,710	—
為替差損	16,096	55,786
工事補修費	31,700	30,084
その他	69	208
営業外費用合計	80,063	99,600
経常損失(△)	△330,534	△120,984
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	9,000	—
特別利益合計	9,000	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△321,534	△120,984
法人税等	57,497	11,291
四半期純損失(△)	△379,031	△132,276
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△379,031	△132,276

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△379,031	△132,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,009	226,113
為替換算調整勘定	8,000	△15,739
退職給付に係る調整額	1,217	3,067
持分法適用会社に対する持分相当額	11,732	21,216
その他の包括利益合計	27,958	234,657
四半期包括利益	△351,072	102,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△351,072	102,380

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	日本	米国	中国	インド	フィリピン	オースト ラリア	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,097,539	1,460,665	224,251	—	—	—	8,782,456	—	8,782,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,097,539	1,460,665	224,251	—	—	—	8,782,456	—	8,782,456
セグメント利益又は損失 (△)	△353,037	76,666	△70,117	△8,988	△3,424	△1,723	△360,625	27	△360,597

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	日本	米国	中国	インド	フィリピン	オースト ラリア	計		
売上高									
外部顧客への売上高	8,708,142	1,665,390	88,008	—	—	5,596	10,467,137	—	10,467,137
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,708,142	1,665,390	88,008	—	—	5,596	10,467,137	—	10,467,137
セグメント利益又は損失 (△)	△101,119	56,304	△65,408	△7,555	△119	1,000	△116,897	45	△116,851

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

(個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況)

期別	区分	前期繰越工事高 (千円)	当期受注工事高 (千円)	計 (千円)	当期完成工事高 (千円)	次期繰越工事高 (千円)
前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	新築工事	30,238,304	10,066,374	40,304,678	3,958,440	36,346,238
	改修・保守修理等	7,294,363	6,361,974	13,656,337	2,895,498	10,760,839
	計	37,532,667	16,428,349	53,961,016	6,853,939	47,107,077
当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	新築工事	24,771,833	4,636,096	29,407,929	4,816,594	24,591,334
	改修・保守修理等	7,263,111	3,232,119	10,495,231	3,648,573	6,846,658
	計	32,034,944	7,868,216	39,903,161	8,465,168	31,437,993
前事業年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	新築工事	30,238,304	22,650,628	52,888,932	28,117,099	24,771,833
	改修・保守修理等	7,294,363	18,861,567	26,155,930	18,892,819	7,263,111
	計	37,532,667	41,512,195	79,044,863	47,009,918	32,034,944

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合、当期受注工事高にその増減額が含まれております。したがって、当期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 次期繰越工事高は(前期繰越工事高+当期受注工事高-当期完成工事高)に一致しております。